

江州音頭だより

第 48 号

令和4年7月15日発行

滋賀県江州音頭普及会事務局

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1 (滋賀県観光振興局内) TEL 077-528-3741 / FAX 077-528-4877



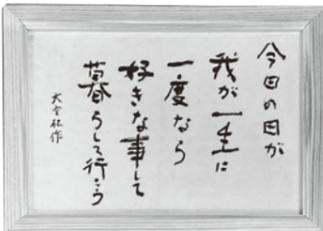
今年も江州音頭ネタツアー！
唄い、踊り、盛大に終わる！

尼子江州音頭普及会 桜川 捨晴
木村 晴夫 (甲良町)

江州音頭協会にて、令和3年11月13日(土)〜14日(日)彦根市日夏町の荒神山自然の家において、コロナで心配していましたが、江州音頭ネタツアーを予定通りに開催することができました。協会も発足して10年になります。今回も、御来賓の方々、会員の方々、参加者の方々の御協力によりまして普及活動ができました。

今回のネタとは、「音頭の題名」ことで、各地の題名をテーマにした音頭のことで、準備など、県立大学の協力を得て私たちにできること。それは、コロナに負けず元気に、世を越えての交流です。今回の普及活動は、今はやりのオンラインを通して行うことができません。心と体の健康も高めるため、オープニングには、湖国太極拳クラブの演武も取り入れました。江州音頭普及会の会員や、県立大学生等76名に参加していただきました。学生さんの中には、「江州音頭は、言葉はいらなくて、踊りの中でコミュニケーションがとれる。地元を持ち帰って広めることで力になりたい」と、言ってくれた人もありました。

今後もこのようなイベントを通じて、江州音頭普及活動を継続していきたいと思っております。今後とも、皆様方の御協力をよろしくお願ひ申し上げます。



昨年、地域の小学校より戦時中のお話をと依頼された。昭和16年度国民学校一年生として入学した三人組で伺った。そのなかで、子どもたちの反響に戦中の体験を伝えること併せ、江州音頭を継ぐ活動をお願いした。

マスク着け 踊る阿呆の姿よし

あいの土山江州音頭普及会
代表 福永 昭子 (甲賀市)



今年には聖徳太子が亡くなって1400年になります。滋賀の湖東地域には聖徳太子が建立したと言われる神社や、仏像を作られた、旅の途中に立ち寄りられた等、聖徳太子にかかわるお寺がたくさんあります。その社寺の内11社寺がイベントを行

東近江江州音頭普及愛好会

三代目 真鍮家 文好
小椋 祥行 (東近江市)



平和な社会に感謝しつつ、今更ながら、江州音頭は体と心の最高の健康法と実感した。コロナ禍の中、こんなに楽しかったことはないとの参加者の声がありました。

【第一部】戦中については、展示物を中心に紹介、戦中の姿で参加した4名を中心に進めた。

【第二部】江州音頭・円形の座席より紹介と共に真ん中に出て二回りのさやかなファッションショーを楽しみ、大会に参加したことなどを披露した。

【第三部】全員マスク姿ながら広い大ホールで、変装姿で心ゆくまで踊る。東京オリンピック沿道用の日の丸旗で参加者全員が出演者となり、フィナーレを盛り上げた。

うということをお願いして、11社寺の江州音頭としての作詞をして飾り付けをしました。出来るまで、各社寺の案内文やパンフレット、又インターネットなどで調べて作りました。出来上がったものを持っていき、内容を見てもらい、添削していただきながら2〜3回足を運んだりファックスでやり取りをして了解を得ました。境内の風景や仏像、建物を撮影してパソコンに入れて、写真に音頭の文字を張り付けてパワーポイントを作成し、スライドで写しながら音頭を取るといふ事をしました。今はコロナで皆さんが外へ出られない、密にならないようにとのことで江州音頭の新しいバージョンを作りました。

それと並行して11社寺の江州音頭冊子を作成し希望者に配布しております。江州音頭会館へお越しいただいた方には館内で上映し、隣で太鼓のリズムで歌っています。感触としては、目と耳で江州音頭の内容がよくわかると好評をいただいています。今年3月の初めには11社寺の音頭を吹き込みDVDを作りました。会員の皆様お近くへお越しになられたら是非お立ち寄りください。



豊郷町教育の日における江州音頭

会長 藤野 恵津子 (豊郷町)



新型コロナウイルス感染症の勢力が衰え始めた段階で、新しい変異株オミクロン株が確認され、なかなか終わりが見えてこない情勢であります。

そのような中、11月1日は「滋賀教育の日」であり、豊郷町もこの日を「豊郷町教育の日」と定め、園児・児童・生徒のフリー参観を実施しています。江州音頭の発祥地として、従来は運動会の最後のみならず踊ってフィナーレを飾っていましたが、今年度は教育の日で豊郷小学校において、全校での総踊りを実施しました。

当日は絶好の秋晴れとなり、運動場では日傘踊りを添えると、華を咲かせたように踊りの輪が広がりました。コロナ禍で社会のありがたさを再認識すると同時に、既存のやり方を見直す良い機会となりました。

令和2年度 滋賀県江州音頭普及会事業実績書

- 江州音頭普及事業
- 情報発信事業.....120,797円
 - (1)江州音頭普及パンフレット・チラシ等の作成 (88,880円)
 - (2)「江州音頭フェスタ in しが」の開催 (31,917円)

令和2年6月に「江州音頭フェスタ in しが」の開催を予定していましたが、コロナウイルス感染症の拡大により中止になりました。

【経緯】
●令和2年1月23日 第1回実行委員会 江州音頭フェスタ開催を決定
●令和2年3月18日 第2回実行委員会 コロナウイルス感染症の動向に鑑み会議を中止
●令和2年4月10日 実行委員三役会 今年度の江州音頭フェスタについて、コロナウイルス感染症の動向に鑑み中止を決定。
●令和2年4月16日 各関係機関(会員含む)に今年度のフェスタが中止となった旨連絡。並行して開催準備を行っていたため、その経費の支出が発生。
 - 県内・県外普及活動参加団体等への助成.....0円

江州音頭の普及促進のために、県内で開催される観光展、物産展、コンベンション、イベント等を活用し、江州音頭の出張講演を行った団体に対し助成金を交付する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりすべての事業計画が取りやめになりました。
 - 江州音頭盆踊り大会の開催.....0円

京都滋賀県人会、京都新聞社、県の三者で実行委員会を組織して令和2年8月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止になりました。
 - 「江州音頭だより」の作成.....94,490円

会報「江州音頭だより」を令和3年3月22日に1,500部発行しました。
 - 会議費.....0円

令和2年7月までは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、会議は規模縮小もしくは中止になりました。令和2年8月以降は、東近江市に開催した江州音頭会館が会議でも無料で使用できることになったので、支出はありません。
 - 事務費.....418円

滋賀銀行との窓口収納事務取扱契約による取扱手数料および経費の振込手数料につき支出が発生しました。

令和2年度 滋賀県江州音頭普及会事業収支精算書

単位：円				
区分	予算額	精算額	増減額	摘要
県補助金	450,000	0	450,000	
会費収入	250,000	204,000	46,000	会費収入183人
協力金等	100,000	11,700	88,300	CD売上1,300×9枚
繰越金	69,443	69,443	0	
雑入	557	5	552	預金利息
計	870,000	285,148	584,852	

単位：円				
区分	予算額	精算額	差引増減額	摘要
情報発信事業費	600,000	120,797	479,203	江州音頭フェスタ(中止)の準備費用
パンフレット・チラシ作成費	(100,000)	(88,880)	(11,120)	
フェスタ開催費	(500,000)	(31,917)	(468,083)	
県内・県外普及活動参加団体等への助成	0	0	0	
江州音頭盆踊り大会の開催	0	0	0	
情報連絡費	100,000	94,490	5,510	江州音頭だより作成費
会議費	20,000	0	20,000	
事務費	45,000	418	44,582	取扱手数料・銀行手数料
繰越金	0	69,443	△ 69,443	
予備費	105,000	0	105,000	
計	870,000	285,148	584,852	

編集後記

第48号の発行が大変遅くなり申し訳ございません。この度ようやく皆さまのお手元にお届けすることができました。会員の皆様には活動報告など、たくさんのお便りをいただきありがとうございます。また、紙面作成にあたり、いただきましたお便りの表現の一部編集部で変更させていただいたこととお詫び申し上げます。引き続き、会員の皆様方の活動報告や近況など、原稿を事務局までとどしどしお寄せください。あて先は右記までお願いします。

令和3年度 滋賀県江州音頭普及会事業実績書

- 江州音頭普及事業
- 情報発信事業.....9,306円
 - (1)「江州音頭フェスタ in しが」の開催

令和3年10月に「江州音頭フェスタ in しが」の開催を予定していましたが、コロナウイルス感染症の感染状況から中止になりました。

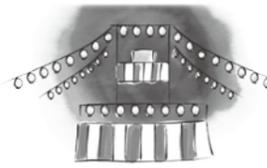
【経緯】
●令和3年3月4日 第1回実行委員会 9月下旬〜11月上旬の開催で了承
●令和3年4月24日 第1回 実行三役会 フェスタ開催概要を検討
●令和3年8月1日 第2回 実行三役会 感染対策を万全に行ううえで発表会形式のフェスタ開催を検討
●令和3年8月5日 8月5日に本県でもまん延防止重点措置の適用が決定され、フェスタ中止の決定。県事務局に報告。第2回実行委員会の中止を決定。
 - (2)「江州音頭だより」の作成

会報「江州音頭だより」を令和4年3月に1,500部発行する予定でしたが、令和4年度に発行を繰り越しました。
 - (3)その他

江州音頭を紹介するチラシについて不足が生じたため、増刷しました。
 - 県内・県外普及活動参加団体等への助成.....0円

江州音頭の普及促進のために、県内で開催される観光展、物産展、コンベンション、イベント等を活用し、江州音頭の出張講演を行った団体に対しその経費について助成金を交付する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりすべての事業計画が取りやめになりました。
 - 事務局運営.....17,045円

会議費の支出はなかった。経費の振込手数料につき支出が発生しました。



令和3年度 滋賀県江州音頭普及会事業収支精算書

単位：円				
区分	当初予算額	精算額	増減額	摘要
県補助金	400,000	0	△ 400,000	県観光振興局補助金
会費収入	210,000	183,000	△ 27,000	会費収入183人
協力金等	20,000	9,100	△ 10,900	CD等の売上1,300×7枚
繰越金	69,443	69,443	0	
雑入	557	2	△ 555	預金利息等
計	700,000	261,545	△ 438,455	

単位：円				
区分	予算額	精算額	差引増減額	摘要
情報発信事業費	200,000	9,306	△ 190,694	江州音頭チラシ増刷(100枚、9,306円)
県内・県外普及活動参加団体等への助成	450,000	0	△ 450,000	
江州音頭盆踊り大会の開催	0	0	0	
会議費	0	0	0	
事務費	5,000	1,045	△ 3,955	支払手数料715円 紙面印刷代3,300円
通信費	40,000	16,000	△ 24,000	切手代 16,000円
予備費	5,000	0	△ 5,000	
繰越金	0	235,194	235,194	令和3年度分 江州音頭だより作成費含む
計	700,000	261,545	△ 438,455	

〒520-8577
滋賀県大津市京町4丁目1-1 県庁観光振興局内
滋賀県江州音頭普及会事務局
TEL 077-528-3741
FAX 077-528-4877

江州音頭協会総会開催

龍神家(門会) 櫻川 花山
立花 守(甲賀市)

今年は江州音頭広域年賀詞交換会が、新型コロナウイルス禍の中、中止となりましたが、新年総会は1月16日(日)に開催されました。コロナ感染対策は万全でした。来賓方々衆議院議員 上野賢一郎(代理)様、全国滋賀県人会 蔭山孝様、滋賀県普及会 山添みゆき様(有)、アド・ミラネット 松原茂様の御出席を賜りました。

音頭協会木村会長より令和3年度の事業報告、一般会計、役員を選出についてそれぞれ報告があり、総会は滞りなくすべて可決されました。その後真鍮家三代目師匠より、新しいネタの音頭を紹介されました。今年は聖徳太子の1400回忌の節目となり色々なお寺を訪問され資料を調べられて、お寺のそれぞれの音頭を作成され、その一部を披露されました。味わいのある素晴らしい音頭でした。十七条の憲法の第一条に、和をもって貴しの条文があり、協会も和をもって楽しく江州音頭を色々なイベントに参加して全国に発信出来たら良いナア!と思います。

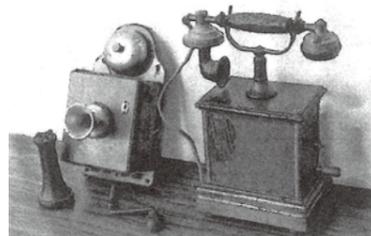


電話と江州音頭

よしの家(門会) 桜川 陸月
松本 隆(大津市)

「アルアル」(リンリンリン)、これは電話器の音で、家庭に電話があまり普及していなかった昭和30年頃、私の家の電話にまつわる思い出話である。私が中学生のころは見山郵便局に電話の交換台があり、電話をかける時は電話の受話器を片手にハンドルをグルグル回して、働いている女性の交換手の方に「おばちゃんこんにちは」と声掛けをして自分の番号と相手の番号を言う。すると、交換手

のおばちゃんも(同じ見山村の方と思われるが顔は知らない)「今日も元気か?今何してんのん?」とかの声が返ってくる。私も合わせてあいさつへの返事をする。このわずかな間にカチャカチャと交換台のプラグの差し込み音が聞こえ、次々と各局(見山局から...茨木局...各局)に繋がれていき、しばらくすると相手の方と話が通ずる。
また時々、見山局から「あんたこの近くの〇〇さんへの電話やで!」とかかかってくる。私はそのことをすぐに走って行って伝えたことも度々あった。話が終わったおつちゃん「いつもいつもおおききすんまへん!」と言いつつも、日常の話が弾み、満足気に帰っていった。
私の家の電話器が便利であるということ、茨木土木事務所河川工事や道路の仮管理事務所となつたり(母親が雨量計の報告もしていた)、見山の寒天組合の事務所にもなつていたので、「京都堀川の〇〇番へ繋いでくれ」とかいいう呼び出し声もよく覚えていた。
写真は多分ご存知(テレビドラマのバック等で時々見かける)の方も多くあると思うが、当時に近い電話器である。



話変わって、江州音頭で電話の場面がある一節を紹介する。物語は、大正12年頃の「王将坂田三吉物語」の一節。
ドンドンと太鼓の拍子で歌い始める。「ア、宿敵関根金次郎の祝賀会真つ最中に病気の小春が危篤じゃと、電話掛かりし三吉はエ、エ、かすかに聞こえる受話器を握り、貞女小春に泣き叫ぶ。コレ今から唱える。ホケキヨウ(法華経)をコレ聞いておくれよ、ホケキヨウを。ハヤシ(囃子)でソラア、ヨイトヨイヤカカどっこいさあせ」
むせび泣きする、こみあげる。歌はまだまだ続くが、あとは盆踊りの会場!王将坂田三吉の嘆き悲しむ様子や情景が目に見えかきましたか!

江州音頭の現状と不安

蓬萊家会 五代目 櫻川 徳丸
伊藤 耕造(甲賀市)

ここ2年は、コロナによるイベントの中止。それに加えて継承者の高齢化。指導者の不足。コロナ収束後、果たしてイベントが開催されるのか懸念される。イベントがなくなると個々のレベル低下が促進すると思う。イベントが開催されない時こそ個々の技量の保持向上をするべきである。ここ数年を振り返ると、今後の継承が心配である。出演されている舞台を見ると是が江州音頭かと思う所がある。後世に残すためにはどうするべきか取り組みなくてはならないと思う。このままでは、江州音頭は消滅するのではないかと危惧する。なぜかという、指導する方が少なく、又、真の音頭を習うという方も少なく、若い方が習う事も少ない現状において、他の興業も多く昔と比べて魅力が無くなつてきている事が要因ではないかと思う。江州音頭とは他民謡とは違い非常に難しい。滋賀県の江州音頭として残すにはどうすればよいか考える時ではないか。私が思うには、あと5年から10年で衰退するのではないかと心配する。レベルが低い段階では、人前で発表は控えるべきである(教室内は別)。なぜかという、知らない方、滋賀県の方がこれが江州音頭かと言われる話話を聞き及ぶ。最上級のレベルでなくともよいと思うが、最低限の基本知識が必要であると思う。例えば、リズムが外れない、踊り子衆の足並みが揃う事が大切である。ただ読み上げているだけではないかと思う。恥ずかしいくない江州音頭の披露と後世への継承をしなければならぬ。レベル向上を図るためには、教える習うという形態を作らなければならぬ。私も微力ながらお手伝いをしたいと思つています。今私の活動は東近江市で座敷音頭の発表とお世話になつています。誰からも江州音頭やと言われるように頑張りたいと思つています。宜しくお願ひ致します。
習う教える組織作りをしましょう。江州音頭伝承者登録制度の設置(踊り、音頭取り)。事務局は観光振興局江州音頭普及会内。応募方法、自薦他薦、会派、門、教室、個人、普及会会員、普及



こんな活動をしています!

守山江州音頭保存会です。地域の公民館で先輩方の唄い方や太鼓、鉦、拍子木や、錫杖の鳴らし方を学びながら月2回の練習をしています。毎年、自治会や高齢者施設の夏祭りやつどいに招かれ

若者にも江州音頭の楽しさを

滋賀県立大学 湖風祭実行委員会
第28代企画部長 森川 貴寛

2021年度の湖風夏祭が学内開催となり、江州音頭を学生が踊ることができませんでしたが、2021年11月13日に行われました江州音頭ネットツアーにて江州音頭をはじめとした、様々な伝統芸能に触れることができました。ネットツアーではおおよそ20人もの学生が参加し、ほとんどの学生が江州音頭を初めて体験するという事で、はじめはぎこちない様子で踊っていましたが、時間が経過するにつれ次第に慣れ始め、皆さんと笑顔で楽しそうに踊っている様子でした。大きな会場ではありませんでしたが、一体感が生まれ地域の方とお話ししながらあつたという間に時間が過ぎていきました。

このツアーを通じて私は江州音頭の楽しさと、地域交流の大切さを経験しました。今後江州音頭を通じて、滋賀県立大学の学生と地域との交流がよりよくなることを願っています。皆さんも江州音頭の楽しさをぜひ体験してみてください。



江州音頭ネットツアー

町政施行50周年と江州音頭

会長 藤野 憲津子(豊郷町)

豊郷町は、昭和46年の町政施行によりまして、昭和40年に江州音頭発祥地として郷土芸能保存会

が設立され、現在の江州音頭保存会としての永い歴史があります。
江州音頭は、今から430年前に千樹寺が戦火で消失され、お寺が再建されたその時の落慶法要の余興に、住職が境内に人形をたくさん並べて、お経に音頭の節をつけて歌い、手振り、身振り拍子をつけて踊りだしたのが、江州音頭の始まりとされています。そして次第に、地域の人々に受け継がれ、この踊りに絵日傘や扇を持つて踊る祭文踊りが町の無形文化財になつていきました。

昨年は、町政施行50周年にあたり、町政要覧掲載のための撮影があり、8月7日の暑中の厳しい折柄ではありましたが、発祥地である千樹寺の境内には、一時期ひとときわ、ひまわりの花を咲かせたような美しさと、賑わいを見せました。



活動報告

スターダスト河内

私たちがスターダスト河内は20周年を迎えます。スターダスト河内は、当時小中学生だったメンバーが河内音頭のルーツが地元枚方にあると聞き、「地元文化は地元人間で守らなければ」という志のもと、次世代に文化を伝えるため2002年に結成しました。
地道に活動を続けていく中で、河内音頭で大阪府知事賞を受賞、イギリスの国営放送であるBBCにも取りあげていただき世界へ向け発信。また、2017年に河内音頭の元節である交野節

の保存会を発足し、2020年1月には約35万人もの観光客で賑わう道頓堀で開催された、今宮戎の戎舞台で交野節を披露しました。
地元大阪では河内音頭と同じように江州音頭も大人気で、私たちも幼い頃から楽しく踊ってきました。しかし、滋賀県の盆踊りに参加した際に、本場滋賀県ではあまり踊られていないことに衝撃を受け、滋賀県に恩返ししたい気持ちを込めて、若い世代に江州音頭を踊ってもらえるように江州音頭普及会に入会し、尽力してきました。

江州音頭を踊るのはもちろん、江州音頭を若い世代に知ってほしいと願いを込めて大津市で作成された、マザレ祭りのテーマソング「Mazare Party」と「踊れ! どっこい! 皆の衆」
(踊れ! どっこい! 皆の衆は、私たちの地元枚方で歌舞伎と日本舞踊をされている小椋佳乃輔さん(四代目坂田藤十郎さんのお弟子さん)に、振り付けしていただきました)
を舞台で披露しています。
ですが2020年以降、新型コロナウイルスの感染拡大によりイベントは激減し、日頃の練習もできない状況になりました。モチベーションの継続や新メンバー増員も難しい中、枚方市の公式テーマソングへの盆踊り振付や、You Tube、メディアへの踊り動画投稿、オンラインツールを活用し東京の大学生とのコラボイベントやオンラインイベントの開催、大阪・関西万博に向けて準備を進めるなど、メンバー全員で知恵を絞って、創意工夫を凝らしてきました。

今まで当たり前前であった盆踊りが2年連続で中止になり、先の見えない中で、先人達もこうした大変な時代を乗り越えて令和の御代まで文化を繋いでこられたのだと、感謝と敬意を払い、このような困難にも負けず私たちが自身もまた10年・20年先へこの文化を伝えていきたいと改めて実感した期間でもありました。
今年こそコロナが終息し、皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。



コロナ禍の今、なかなか思うように活動ができないのが残念ですが、早くコロナが終息し、練習の成果を思いっきり発揮できる機会が来ることを願っています。